

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シツキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
<http://www.shizuki.co.jp>



株主通信

第93期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

メッセージ

一丸となって、
次への一歩を。



証券コード 6994 / 東証二部
株式会社 指月電機製作所



メッセージ



代表執行役社長
足達 信章

一丸となって、次への一步を。

外部環境の変化に耐え、 自分たちにできることを磨く。

過去最高の売上高を達成した前年度から、状況は大きく一転し、2020年度の上半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大とその予防対策による経済活動の制限により、非常に厳しい経済環境となりました。

自動車(EV・HEV)用コンデンサは、第2四半期に入って

予測を上回る回復を見せたものの、中国をはじめとする産業機器用コンデンサの需要の落ち込みは厳しく、家電用の生産調整や電力関連の工事延伸などの影響も受け、売上高は前年同期比13.4%減少の9,883百万円となりました。

しかし一方で、従業員が一丸となってこの難局に立ち向かい、原価低減や販売費ならびに一般管理費の改善が大きく進みました。その結果、営業利益につきましては、△200百万円という業績予想を上方修正し、営業利益91百万円として黒字で着地させることができました。

たとえば、EV・HEV用のコンデンサでは第1四半期である

4,5,6月は生産に大きくブレーキがかかり、第2四半期からは需要が急速に持ち直してアクセルを踏み込むかたちになりました。こうした生産計画の大幅な増減を受けても、現場にいる一人ひとりが機敏に対応し、かつ、気を弛めることなく不要不急の投資・購買に対して抑制をかけたことで、非常に厳しい経済環境に見舞われながらも、黒字化を果たすことができました。従業員一人ひとりの努力に、この場を借りて感謝の意を伝えさせていただきます。

また、変わらぬご支援を賜る株主の皆さまに、厚く御礼を申し上げます。

2019-2028年度

長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、
品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し社会に貢献する
企業グループになる

中期経営計画

第I期 2019~2021年度

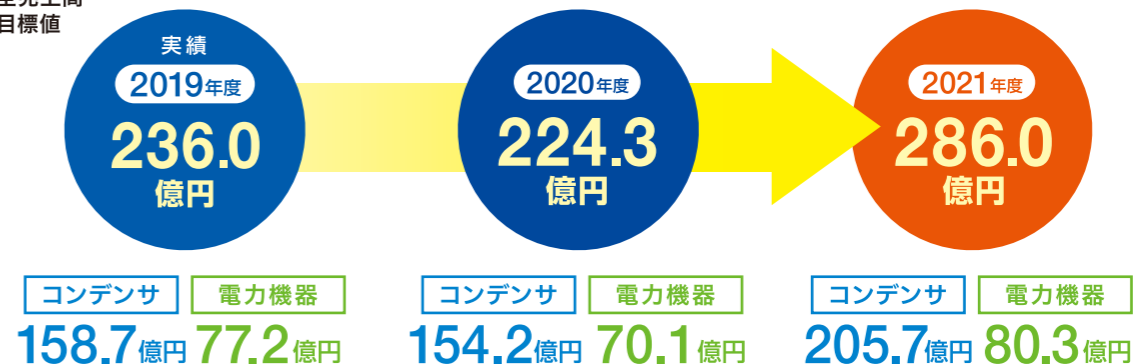
第II期 2022~2024年度

第III期 2025~2028年度

第I期には、産業機器、自動車機器(xEV)、電力機器(力率・品質改善)、環境・省エネ機器の事業推進を重点施策として、10年後のあるべき姿、そして、100年企業に向けた経営基盤の確立に努めます。

<セグメント別売上高目標値(連結)>

全売上高
目標値



メッセージ

苦境の時こそ、 事実と本質を見つめ、 挑戦を重ねていく。

プロジェクトチームの活動が奏功。 ものづくりの本質を見つめ、 品質と生産性を向上。

シヅキでは、前期より「開製販の一体化」を進めるとともに、生産・製造技術を中心とした「プロジェクトチーム」を発足しました。それぞれの事業分野ごとに開製販が一体となったチームがあり、さらに生産・製造技術チームがそれらを横串でサポートすることで、各チームにおける「品質・生産性の向上」と「原価低減」を強力に後押ししているというチャレンジです。

こうした新しいチーム体制が、第2四半期以降から大きく功を奏してきています。その顕著な例が、歩留まりの向上です。どうしても工程内で出てしまう不良やロスをごくまで下げられるのか。ここに対して、プロジェクトチームのメンバーたちがものづくりの原理原則を掴んだうえで、しっかりと不良の再発を抑え込んでいきました。こうした取り組みが現場に根づくことで品質と生産性が安定し、歩留まりが着実に改善されてきました。

また、製造技術を磨き、日ごろから生産性の向上に努めることで、新型コロナウイルスによる経済活動の変化を受けて生産量が低下する局面でも、生産性は落とすことなく、

生産計画の急激な変化に対してキャッチアップすることができました。

新入社員が論文コンクールに入賞。 そこに息づく、品質への想い。

この春迎えた新入社員の教育においても、例年とは大きく状況が異なる中、人事担当者が工夫をこらしながら新たな取り組みにチャレンジしてくれました。そのひとつが、日刊工業新聞社主催の「フレッシュヤーズ産業論文コンクール」への挑戦です。“あすの社会、あすの企業、あすの私を考える”という予め定められた主テーマに対して、新入社員の一人が“品質と信頼性は比例関係”という副題を添えて論文を提出し、入賞を果たすことができました。

この論文には、「品質」への徹底した姿勢が、お客さまや社会の幸福、そして自分自身の幸福につながっていくという考察が書かれており、工場研修での経験や、シヅキの長期経営ビジョンである『挑戦する社風へと変革し、品質第一のモノづくりと、未来を見据えた新技術・新商品の開発、グローバルな事業展開の推進により、社員の夢を実現し社会に貢献する企業グループになる』という考え方が、しっかりと息づいています。

研修先で出会った従業員や、日ごろの業務を通して“品質第一のモノづくり”や“社会貢献”の精神、そして“挑戦する”気持ちが新しい従業員の胸に根つき、それがこのようなかたちで世に出ることを、とてもうれしく思います。

苦境の時こそ、事実を直視する。

新型コロナウイルスによる世界経済への影響については、依然として予断を許さない状況が続いています。私は、今日に至るまでにさまざまな事業の成否を見てきた経験から、

ピンチの時こそ「事実を直視する」ということを心がけています。常に、最悪の事態を想定し、そこに対して備えながら、やみくもに守りに入るのではなく、取るべきリスクの判断も行うこと。物事を楽観したり過度に悲観したりすることなく「事実を直視する」という姿勢を肝に銘じて、経営判断にあたっています。

つづく第3四半期・第4四半期におきましても8月に発表した「2021年3月期の業績予想および配当予想」の計画を堅守できるよう、全社一丸となって挑戦を重ねていく所存です。株主の皆さまにおかれましても、ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

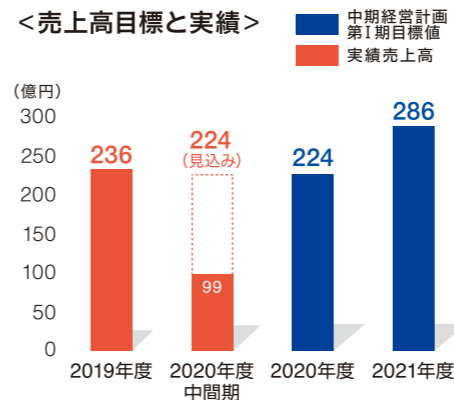
<経営指標>

	中期経営計画 第1期			
	2019年度	2020年度 (中間期)	2020年度	2021年度
売上高	236.0	98.8	224.3	286.0
営業利益	11.8	0.9	6.7	17.6
営業利益率(%)	5.0	0.9	3.0	6.2
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	7.0	0.2	2.0	11.3
当期(四半期)純利益率(%)	3.0	0.2	0.9	4.0
ROA(%)<総資産経常利益率>	4.6	0.5	2.2	4.8
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	21.4	0.6	6.1	34.3

(億円)

実績 ← → 目標値

<売上高目標と実績>



<重点施策の売上高目標(連結)>



※P02、P04に記載している2021年度の数値は、2019年5月に発表したものであり、今後の見通しについては、新型コロナウイルス感染症拡大による経営業績への影響が見込まれるため、現時点では未定としております。現在、情報を収集・分析中であり、早急に影響額を見極め、速やかに開示する予定です。

テーマパークや工場などの大規模施設も、「力率改善」でしっかり省エネ!

高圧進相コンデンサ設備 Q-PAC

工場や商業施設など、たくさんの電力が使われるところで活躍する「Q-PAC」。施設が受電した電力を「効率よく使う」ためのサポートをしています。さらに、電気障害である「高調波」の拡大防止もQ-PACの得意分野。まわりの機器への影響を抑えて、施設の安定稼働を支えています。

1台で何役もの働きをする理由は、「力率改善」によって電力の有効活用をサポートする“進相コンデンサ”と高調波障害を防止する“リアクトル”が一体になった設備だから。省エネ&省スペースな装置としてニーズが高まり、この上半期は、大型テーマパークにも納入。前年同期比で12%の伸張を果たしました。



～電力の有効活用のために～

流れているすべての電力(=皮相電力)が仕事をしているわけではなく、一般には、実際に仕事をする有効電力の他に、仕事をしない無効電力も流れます。流れている電気のうち何%が仕事をしているかを示す値を「力率」と呼びます。進相コンデンサは、力率を100%に近づけるために設置されます。

力率改善の効果

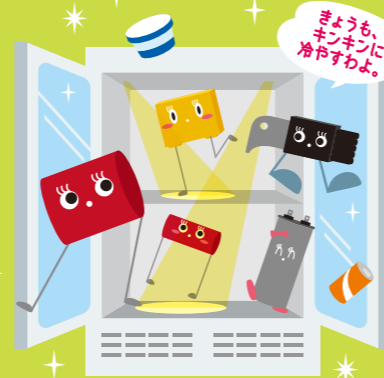
- 電気料金が割引される
- 電力設備に余裕ができる
- 電力損失が低減される
- 電圧が安定する

教えて!

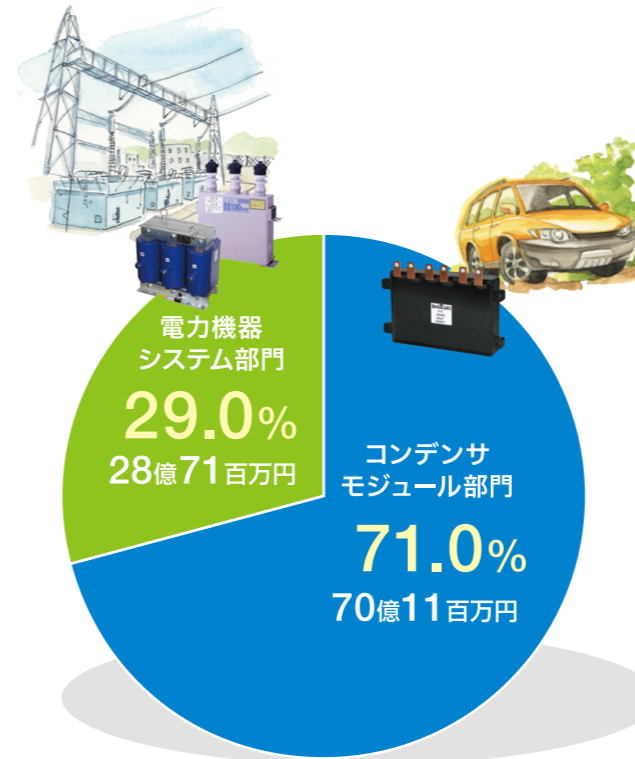
コンデンさん

コンビニのショーケースで繰り広げられる、私たちのステージショー。

コンビニやスーパーで、きっと毎日のように目にするショーケース。私たちフィルムコンデンサにとっては、たくさんの仲間たちが活躍するショーの舞台なの。飲み物やアイスクリームを冷やすためのコンプレッサーやファンの運転をささえるコンデンサがいたり、ショーケースの照明係を務めるコンデンサがいたり、電気をうまく使って省エネに役立つコンデンサもいたり。1台のショーケースにつき、3~4個のコンデンサたちが重要な役を務めているのよ。安全性の高い「フィルム」コンデンサは、いろんなステージに引っぱりだこの。



2020年度中間期の業績概要



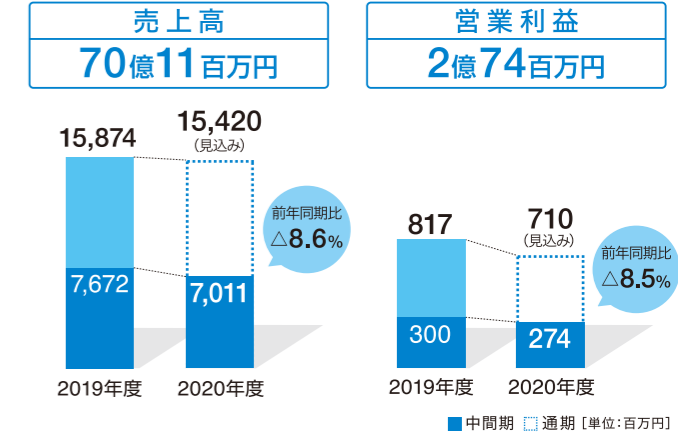
連結売上高

98億83百万円

※セグメント別の営業利益については、調整額△871百万円があります。(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

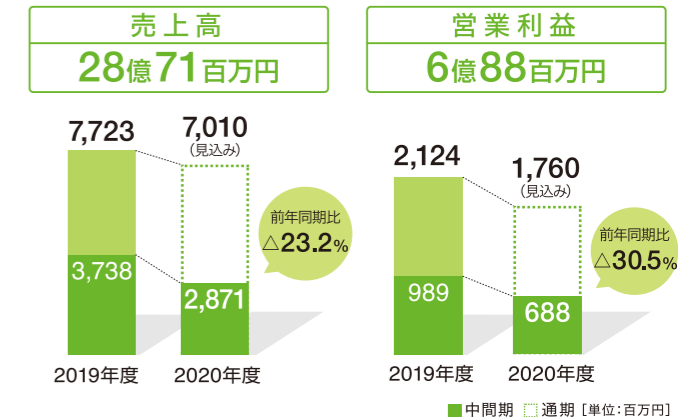
コンデンサ・モジュール部門

EV・HEV用コンデンサは当第2四半期連結会計期間に入り回復したものの、産業機器用、自動車雑防用、家電用は客先での生産調整の影響もあり低調に推移した結果、売上高は7,011百万円(前年同期比8.6%減少)となりました。

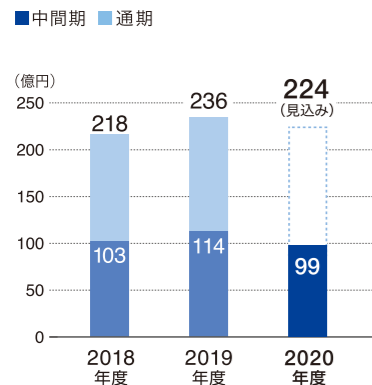


電力機器システム部門

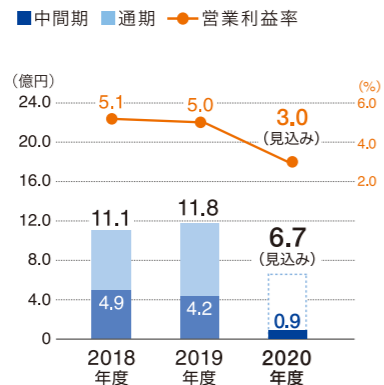
力率改善装置、電力品質改善装置が低調に推移した結果、売上高は2,871百万円(前年同期比23.2%減少)となりました。



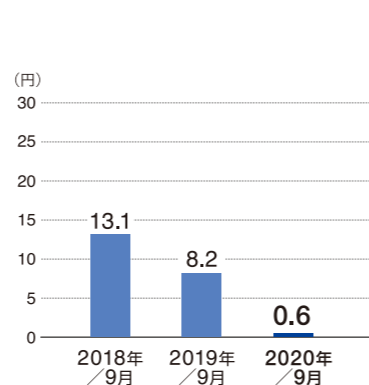
売上高



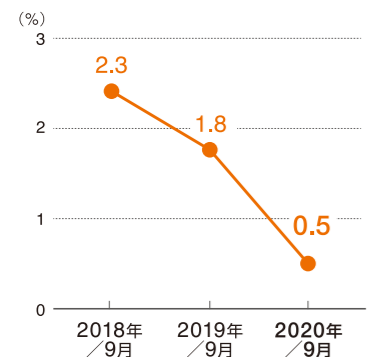
営業利益・営業利益率



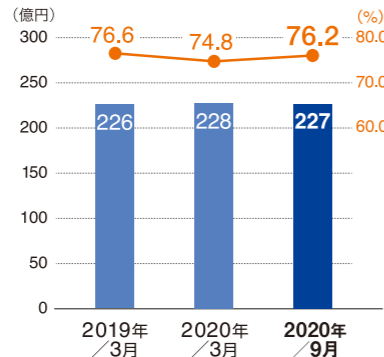
1株当たり利益 (EPS)



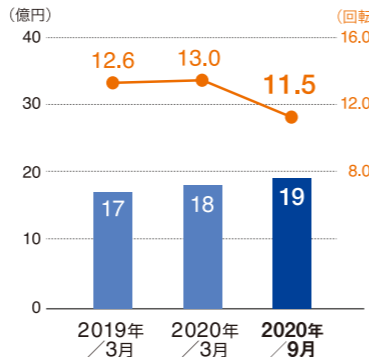
総資産経常利益率 (ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、コンデンサ・モジュール、電力機器システムともに低調のまま推移し、前年同期比13.4%減収の98億83百万円となりました。また、損益については、コスト削減、販売費の削減に努めましたが、売上高減少の影響が大きく、前年同期比で大幅減益となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、今後も先行き不透明な状況が続くと予想されるため、通期連結業績予想につきましては、2020年8月5日に公表した業績予想を据え置いております。今後、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第92期 中間期 2019年9月30日現在	第93期 中間期 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	13,819	14,215
現金及び預金	4,269	5,792
売上債権	7,672	6,392
棚卸資産	1,778	1,944
その他資産	99	86
有形固定資産	12,851	12,924
無形固定資産	125	320
投資その他の資産	1,841	1,945
資産合計	28,637	29,405
負債の部		
流動負債	4,207	2,902
固定負債	1,818	3,767
負債合計	6,025	6,670
純資産の部		
株主資本	20,293	20,384
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	4,276	4,276
利益剰余金	11,036	11,128
自己株式	△21	△21
その他の包括利益累計額	1,983	2,025
非支配株主持分	335	325
純資産合計	22,612	22,735
負債純資産合計	28,637	29,405

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第92期 中間期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	第93期 中間期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	11,410	9,883
売上原価	8,649	7,639
売上総利益	2,761	2,243
販売費及び一般管理費	2,344	2,151
営業利益	417	91
営業外収益	221	214
営業外費用	112	158
経常利益	526	148
特別利益	15	22
特別損失	48	-
税金等調整前四半期純利益	493	170
法人税、住民税及び事業税	171	129
法人税等調整額	29	18
四半期純利益	292	22
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	269	19

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第92期 中間期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	第93期 中間期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	906	1,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,223	△726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209	△126
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△2
現金及び現金同等物の増減額	△520	1,084
現金及び現金同等物の期首残高	4,789	4,707
現金及び現金同等物の期末残高	4,269	5,792

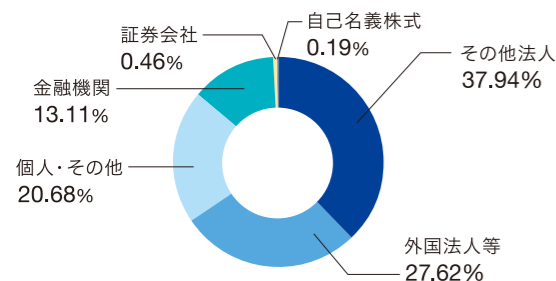
株式の状況

2020年9月30日現在

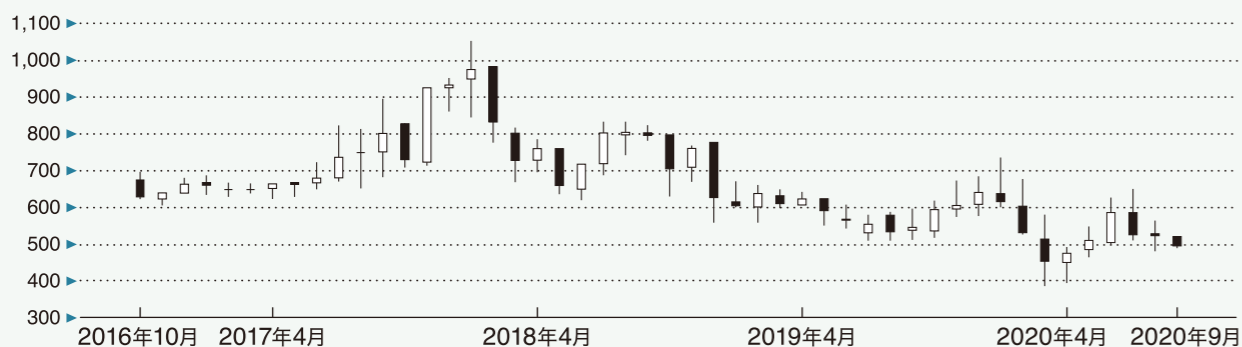
株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	3,351名

所有者別株式数分布状況



株価の推移(円)

2021年
3月期
配当予想

当社の配当方針は、業績をベースに株主の皆さまへの利益還元、内部の投資、運営資金のバランスを考慮して決定することを基本としております。2021年3月期はこの方針にそって、当社の資金状況、配当性向などを総合的に勘案し、中間配当金は見送りとさせていただきます。年間の配当予想を3円00銭といたします。引き続き収益力の回復を進め、株主の皆さまへの利益還元に努めてまいります。

2021年3月期 1株当たりの配当金

中間配当	期末配当 (予想)	年間配当 (予想)
0円00銭	3円00銭	3円00銭

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.2
株式会社村田製作所	4,471	13.5
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,169	12.6
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	2,366	7.2
NPBN-SHOKORO LIMITED	1,522	4.6
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
株式会社みなと銀行	925	2.8
指月協友持株会	924	2.8
MSIP CLIENT SECURITIES	551	1.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	479	1.5

(注)持株比率は、自己株式(64,133株)を控除して計算しております。

会社概要

2020年9月30日現在

会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本社所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	http://www.shizuki.co.jp/
創業年月日	1939年3月10日
設立年月日	1947年9月1日
資本金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,395名
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> ■コンデンサ及び関連機器・装置の製造販売 ■電力機器・装置の製造販売
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> ●東京支社 ●東京支店／関西支店／中部支店 ●仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社村田指月FCソリューションズ	100,000千円	35.0

役員

取締役

取締役会長	足達 信章*
取締役	大槻 正教*
取締役	小山 義雄
取締役	森 公利*
取締役	谷 和義*
取締役	松尾 誠人*

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	足達 信章
常務執行役	大槻 正教
執行役	小田 敦
執行役	相原 宏則
執行役	牧 添 浩明

生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千パーツ	70.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0